

- 団体名:特定非営利活動法人 小野自然倶楽部
- 所在地:福島県小野町大字小野新町字知宗5番地2
- TEL/FAX:0247-72-3597
- E-mail:t1005@silver.plala.or.jp

以下は12月1日(金)いわき会場でのプレゼン資料です

特定非営利活動法人
小野自然倶楽部

代表理事
大方 俊浩



●設立のきっかけ

小野町内において2年続けて不審火による火災で5人の子どもの命が失われました。(おそらく火遊びと思われる)。翌年に別町村ではありますが、氷の張った用水池で幼児2人が水死するという事故があり子供達の危機意識と自然環境への認識不足のため尊い命が奪われていると考え、この団体を設立しました。



●団体の目的

小野町を中心とした田村郡地域とその周辺の子どもたちに対し、地元での環境学習、自然体験活動、食育体験を通して、地域の自然環境保全、自己の危機意識の確立などを目指して、その意識を次世代まで引き継いでいけるように手助けすることを設立の目的としております。



私たちの思い、考え

▶地域の課題

今、日本中で抱えている問題でもあります。この地池でも少子化が年々進んでおり、学校でも一学年ークラスを維持していくのが大変です。そんな中でスポ少なども野球やサッカーなどの団体球技で人数が集まらずに廃部に追い込まれております。その為当団体は、個人や少人数でも行える野外スポーツを中心として活動しておりますが、そんなスポーツに限って使用する道具が高価です。オリンピックなどにも採用されている自転車、クライミング、カヌーなどです。今、これに似せて活動を行っておりますが資金的に難しいのが現実的です。



●目指す地域の姿

これから、若者の人口比率が増えてこないと考えれば、今の子どもたちをいかに成長させるか、そして将来地域の担い手として活躍してもらうにはどうしたらよいのか、まだ結論は出ておりませんが、子どもの内から地域の自然に触れさせてその良さを体験してもらうのが一番の近道と考え活動しております。

活動紹介

1. みどりとのふれあい活動

近隣各地の幼稚園・小学生を対象に木登り体験やワイヤースライダー・木の枝クラフトなどを通して自然とのふれあいを実施。

2. 食育活動

ピザ作りやバーベキューなどを通して食の大切さを教えています。

3. 地域交流活動

婚活パーティなどを開催して自然のでの出会いなどを計画実施しました。

4. 子供たちに自然の大切さの教育。

カヌー体験を通して川の源流から海へ流れるまでの様子を実際の目で見てもらい水の大切さを知ってもらいました。



地域、住民、ボランティア、 参加者の反応や変化

今、小野町の緑とのふれあいの森公園というキャンプ場が併設された森林公園を委託管理しております。そこでキャンプに来た親子を観察させていただいておりますが、自然体験が、好きな親に初めは無理やり連れてこられ戸惑い、面白くなさそうな顔をしていた子供が、二度目、三度目と回数を重ねるうちに自分で遊びを考え、森林の中で自由に遊びまわる姿を目の当たりにして、子どもってすごいな～と改めて思いました。一番感じることは、同年代の子どもたちに比べてはるかに子供らしく、そして自分のことは自分でやる、と感じております。



地域の大人たちも子ども会行事と称し、公園にバーベキューに来ておりますが、子どもよりはしゃいでおります。日頃野外で食事をすると言った経験が少ないため親子で楽しそうに話をしているのを見て、私もほっこりさせてもらっております。やはり親が本心から楽しんでいないと子供も楽しめないんだと改めて思いました。



協働に向けて

活動・組織での悩み 困っていること

なんといっても、人材の確保と、専門知識が必要で、ある程度初期段階は当法人内で管理指導が可能ですが、競技活動をサポートできるスキルがないので、これからもっと学びたい、競技に出てみたいというような子供が出てきた場合難しいのと、子どもたちにはそこを目指してほしいと考えておりますのでこれからの課題でもあります。。

企業と協働したいこと サポートしてほしいこと

まずは、初期段階の投資と、人材の紹介、確保をお願いしたいと考えます。

企業に向けてメッセージ

私たちの団体は、とにかく子供の将来を見据えて地域での自然体験を通して地域の良さを感じてもらい、将来この地域において各分野のリーダーとなり活躍し、恋をし、また次世代を育むと言ったもっとも普遍的なことを将来にわたりつないでいくことを目指しております。

